

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	6 人
--------------------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	2 人	7 人	1 人	0 人	10 人

前回の改善計画	<p>ご家族からの情報は申し送りノートやミーティングなどで確実に職員間で共有し、回覧印を押す。 ご家族やご利用者への返事などが必要であれば速やかに対応する。 ご利用者の確実な情報等は早めに職員に伝え、スムーズにサービスの提供を行えるようにしていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>以前は、口頭での申し送りがあり全職員がご家族やご利用者の情報を周知していなかったという反省点があったが、その日その日の変化がわかりやすいように介護スタッフ確認票を作ったことで、全職員が確認でき、確実に情報を共有することができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	3	6	0	10
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	7	3	0	10
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	8	0	1	10
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	2	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご利用者と日々のコミュニケーションを大切にし、会話の中からご利用者の気持ちを考え、関係づくりに配慮してきた。まだ慣れていない時期は特に声掛けを細目に行い話す機会を作ってきた。 新型コロナウイルスの流行に伴い、遠方のご家族にはご利用者の近況報告を行い、安心していただけるよう電話にて対応し、信頼関係づくりを心掛けてきた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ご利用者・ご家族の意向(サービス回数など)に違いがあり、ご家族の意向が優先されている事がある。 ご家族や介護者の不安を出来るだけ軽減できるよう、電話や送迎時を通じて、声に耳を傾けてはいるが、すべてのご家族に対しての配慮が出来ているのかはわからない。また、急な新規の方の対応に対し情報が不十分でまとまらず、職員が混乱してしまうこともあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>送迎時などでご家族からの情報や要望があった際は、出来るだけその日のうちに返答や解決が出来るように早めに対応するように心がける。 全ご利用者の手順書の見直しを行い、統一した支援を提供できるようにしていく。 初期の段階のご利用者情報は、出来るだけ早く職員に伝え、支援内容など混乱しないように、情報を早めにまとめ職員間で周知する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 1日 (13:15~14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	1人	10人

前回の改善計画
ご利用者の思いに沿った支援が来ているか、関わりシートを活用し再度考える機会をもつ。
また新たな目標を職員と一緒にみつけ、「～したい」の実現に向けて、それぞれ何ができるか具体的な関わり方について各担当者が考え実行する。また、担当者だけが目標を知るのではなく全職員がわかるように関わりシートに目を通して回覧する。

前回の改善計画に対する取組み結果
各担当者に、ご利用者の思いに沿った支援が行えるようゆっくり話を聞き関わりの時間をもって過ごすように声掛けを行ってきた。しかし、全ご利用者一人ひとりの「～したい」を知ることは難しく、達成感を感じることがあまり出来なかった。新型コロナウイルスの感染症防止の為に外出をしたいご利用者の希望に沿うことが出来なかったが、今年のご利用者の24時間シートを作成し、関わりのない時間帯での過ごし方やどんな生活をされているのかという視点に目を向けることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	2	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	3	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	3	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	2	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の何気ない会話の中から、ご利用者のやりたい事・希望を感じ取り、職員間で共有し計画書の作成や目標を立て支援してきた。関わった内容は生活記録などの記録から振り返り、次の支援に繋げるよう対応した。ご利用者の「～したい」の実現に向け、ゆっくりと向き合う時間を作り、関わりの時間を過ごすことが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
意欲低下の方や、認知症の方の「～したい」を聞きだすことが難しくなっている。
又、コロナ禍という中でなかなか一人ひとりの「～したい」の実現が出来ない状況であった。
ご利用者の思いとそれに伴う身体機能が備わっていないこともあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
「～したい」の実現に向け、どのような声かけをすると一人ひとりの思いを導きだせるか工夫し、繰り返し話すよう意識しながらご利用者との関わりの時間を過ごす。今できる事・したいことが長く続けられるようにご利用者の思いを大切にしながら寄り添い、支援をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 1日 (13:15~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画
会話の中から得た情報はきちんと書類に残し、職員間での共有に繋げていく。 生活環境の理解を深めるとともにご利用者の思いを反映した具体的な取り組みを考えるためセンター方式D-1を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者との会話の中から見えた思いは書類に残し、職員間でも共有してきた。 ご利用者の思いをケアマネジャーにも伝達し、ご本人が伝えられないことはご家族に代弁しながら支援を行なってきた。全ご利用者センター方式D-1を作成し以前より生活環境の理解を深めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	8	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	9	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	2	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご利用者の日頃の様子をよく観察し、常に体調や顔色、声色や気持ちの変化に気付いた時、チームで話し合い生活記録や申し送りノートを活用しながら共有出来ている。 特に独居のご利用者の方は体調に合わせてサービスの切り替えを行ない、ご家族とも相談し連携も取れていた。センター方式を活用し、ご利用者の生活環境の理解を深めることが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	新規のご利用者の方や、認知症のご利用者の方の情報収集や本当の思いの把握が思うように出来ないことがある。自宅での生活環境を理解するための情報がご利用者によって差がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	再度、ご利用者の生活歴や情報の少ないご利用者の情報収集を行い、生活環境の把握を行う。 担当のご利用者だけでなく、全てのご利用者の情報の把握ができるように、カンファレンスの際に定期的に内容の確認を行う。ご利用者の暮らしを意識した支援をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 8月16日 (13:15~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	0人	10人

前回の改善計画
必要な地域資源の情報収集を行い、職員間で共有していく。 自宅での過ごし方に目を向け、今できることは何か、会話の中から見つけだし、関りシートを活用し今後に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
新たに知ったご利用者の情報は、地域資源マップに追記しながら情報収集に努めた。 宿泊の利用をされないご利用者や、認知症状のあるご利用者は自宅での過ごし方が見えてこない方もいられたが、24時間シートを作成し、わからない情報はご家族に伺い、今まで気づけなかったことに気付くことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	4	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	4	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	2	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	5	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご家族や介護者と関係が切れないうコミュニケーションを密にとり、必要時連携を取りながらご利用者を支え支援してきた。 送迎時や訪問時、地域の方と挨拶を交わし、生活の様子などを聞き、職員間で情報を共有することが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
独居のご利用者は、地域からも孤立しやすく以前のような地域との繋がりが薄くなっているのではないかと思う。コロナ禍ということもあり地域との関わりを持つことが今まで以上に難しかったが、必要な地域資源を活用できていないご利用者もいられるのではないかと感じた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご利用者が、どのように地域との繋がりを持って暮らしたいと考えているのか、又どうしたら地域の資源を切らずに支援を行なえるかを考え、知る機会を持ち、更なる地域資源の活用を繋げていく。 軒下マップを活用し、今現在の深いつながりや、生活歴の再確認を行い、本人の望む暮らしの意向に結び付けていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 8月16日 (13:15~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 8人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	3人	0人	10人

前回の改善計画
連絡帳でのご家族とのやり取りを工夫していく。一日の様子だけではなくご利用者の声を記入するなどして思いを伝えられる場面を増やす。
記録の書き方は、5w1H(誰が・何を・いつ・どこで・どんな目的で・どのように)を重視してわかりやすい記録を残す。

前回の改善計画に対する取組み結果
ご家族に文章にしてご利用者の思いを伝えることが難しく、ケアマネジャーからご家族に伝えてもらう機会が多くあった。その日あったことなど、ご家族に伝えておきたい内容はその日のうちに職員が対応できるように今後の課題に取り入れたい。
記録の書き方は、誰が見てもわかりやすく記入されている。引き続き継続していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	6	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	10	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	8	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	8	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
急なサービスの変更にも、ご利用者の状況に合わせて「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に対応している。地域の方や関係機関などと連携し配食弁当、シルバー人材、床屋さんなどの資源を利用しながらサポートできている。
コロナ禍の為、ご家族が支援できない場合もあったが、小規模だからこそできる支援を柔軟に使い対応することが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者よりも、ご家族のニーズが優先される事があるため、ご利用者のご希望に添えられない事があった。
地域との関わりが少なく事業所だけで支える支援になっていられるご利用者もいられる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域資源とは何かを職員間で学び、知ることはできた。今年度はもっと細かな一人ひとりにあった必要性のある資源はないか、又、自宅で過ごしたいというご利用者の思いや地域密着型の意味を理解し、各担当職員が考える機会を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 2日 (13:15~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	4人	0人	10人

前回の改善計画	地域の活動やイベントについての内容を職員間で確認し把握する。できるだけ会議等には担当職員が参加し多職種で連携し担当者会議を開催できるよう調整する。
前回の改善計画に対する取組み結果	サービス担当者会議に、2/3の職員が参加することが出来たが、全職員が参加することはできなかった。職員が会議の中で、日常の様子を伝え、直接ご家族の意見などを聞ける場に参加することで職員の意識が向上したように感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	5	3	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	3	5	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	0	6	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	4	6	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
コロナ禍の中でオレンジカフェや予防事業の開催回数は減ってしまいましたが、登録者以外の高齢者・近所の子供との交流が行なわれている。 出来るだけ担当職員が、他の事業所とのサービス担当者会議に参加する機会を設けられるように調整し、情報交換や検討が行われた。書面にて他職員にも伝達されている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
毎年、地域のクリーン作戦や、地域の運動会には積極的に参加できているが、今年度はコロナ禍の為、参加する機会が減ってしまった。町内会などのイベントや会議なども職員が参加する機会があまりない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、サービス担当者会議にはできるだけ担当職員が参加し、ご家族やその他のサービス機関との話し合いの場に参加出来るように調整し交流を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 2日 (13:15~14:00)

7. 運営

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	5人	2人	10人

前回の改善計画
できるだけ現場の職員も運営推進会議に参加してもらい地域の方の情報を聞き、関わりを持つ機会を作る。 事業所は災害時等の避難場所でもあることやAEDを設置している事業所であることを地域の方に周知してもらうために民生委員や包括支援センターの方々に協力をいただく。
前回の改善計画に対する取組み結果
今年度は、新型コロナウイルス感染症の防止の為に運営推進会議の中止が多々あり、現場の職員の参加や、事業所の情報を伝えることは難しかった。今年度、職員には参加出来るように声を掛け、運営推進会議を通じて事業所をよりよく知ってもらえる機会が必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	3	6	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	1	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	6	2	10
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	6	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日頃のミーティング時や、月1回の全体会議などで意見など発言できる機会がある。 ご利用者、ご家族の意見や苦情を伺った際は直ちに職員間で周知し迅速に対応している。報告書を記入し改善点を考え反映できるようにしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方からの意見や苦情を直接伺うことがなく、把握できていない。 地域と協働した取り組みという点では不十分である。 運営推進会議は、送迎時間に行われているため、中々職員の参加が難しかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 施設長、管理者、ケアマネジャーのみならず、職員も多職種で行われる会議に同席し、地域の様子や情報を聞き、自分の意見を伝えられる場を持てるように、可能な限り勤務体制を調整する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 13日 (13:15~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	1人	0人	10人

前回の改善計画
月に一度の勉強会はこれまで通り確実に続け、職員一人ひとりのスキルアップを目指す。 気付きを大切に小さなことでもヒヤリハット報告書を記入していく。朝の申し送り時を活用し、早期に職員間で周知できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
月に一度の勉強会だけで職員一人ひとりがスキルアップするには、時間が足りていない。 もう少し時間を確保し、確実なスキルアップを目指したい。 研修にて、リスクマネジメントについて学ぶ機会があり、ヒヤリハットの大切さを改めて感じる事ができた。小さな気付きが大きな事故を防げていると感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	6	1	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	4	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	5	5	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ヒヤリハット・事故報告書は速やかに報告し、改善計画を皆で話し合い、リスクマネジメントに取り組むことができた。 小さなヒヤリハットでも書き出し、職員間で共有することが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
リスクマネジメントに取り組み、再発防止に努めていたが、同様の内容のヒヤリハットが起こることがあった。又、ヒヤリハットの内容の分析が足りていないと感じた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ヒヤリハットは、日頃から常に意識し、大きな事故に繋がらないように引き続き多く出し合っていく。その場限りでなく、その後の分析をしっかりと行うことで同じ内容のヒヤリハットが出ないように取り組み、ヒヤリハットの様式を分析しやすいよう変更する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 3日 (13:15~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	1人	0人	10人

前回の改善計画
拘束・虐待・グレーゾーンについては引き続き研修などで繰り返し学習し意識を高めていく。 プライバシーに関わるようなことは、日々自分ならどうしてほしいかを常に置き換えて対応することを心掛ける。職員同士の会話に気を付けながら、注意しあえる関係づくりを作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
職員同士の日々のなれ合いから、言葉が乱雑になり、プライバシーに掛ける声掛けがあるように感じた身体拘束や虐待の研修を会議の中で取り入れ、日頃から職員間でも意識づけが出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない	7	3	0	0	10
③	プライバシーが守られている	2	6	2	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	5	4	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	7	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待については研修等で繰り返しの学習ができている。 排泄記録のチェック表で確認することにより、他者の多い所でトイレの確認の声を減らし、プライバシーが守られていると思う。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
トイレ誘導の際、周囲に配慮しながら声掛けを行っているつもりだったが、結果的には大きな声になっていることがあった。 全ての記録が鍵付きの所にあるわけではなく、ご利用者から見えるところに置かれていることや、記録をすることも多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自分ならどうして欲しいかと常に心に置き換えて考えながらご利用者との会話をする。 記録に関しても、プライバシーに配慮しながら記入し、整理整頓を心掛ける。	